令和２年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　池田市社会福祉協議会

目　　次

社会福祉法人　池田市社会福祉協議会　令和２年度事業概要　1

令和２年度　事業報告（拠点区分・サービス区分別）

１．法人運営　3

２．善意銀行運営事業　8

３．地域福祉事業（小地域ネットワーク事業）　9

４．ボランティアセンター事業　１６

５．ファミリー・サポート・センター事業　２１

６．日常生活自立支援事業　２４

７．大阪府生活福祉資金貸付事業　２５

８．コミュニティソーシャルワーカー設置事業(いきいき地域支援事業)　２７

９．意思疎通支援事業　２９

10．紙おむつ給付事業　３０

11．生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）　３０

12．我が事・丸ごとの地域づくり推進事業　３２

13．有償協力員派遣事業（にじの会）　３５

14．訪問介護事業　３７

15．障がい者総合支援事業（障害福祉サービス事業）　３８

16．移動支援事業　３８

17．居宅介護支援事業・介護予防支援事業　３９

18．障がい者地域生活支援センターひだまり　４０

19．池田市さわやか地域包括支援センター　４０

20．池田市保健福祉総合センター管理運営事業　４２

21．喫茶パーラーいけだ　４４

22.「お変わりないですか？」活動　４５

社会福祉法人　池田市社会福祉協議会
令和２年度事業概要

池田市社会福祉協議会では、本会のほぼすべての事業が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、その対応に追われた1年でした。新型コロナウイルス感染症特例貸付の過去に例のない膨大な相談件数への対応や、感染予防に細心の注意を払いながら利用者の生活を守るためにサービスを提供し続けた介護保険や障がい者総合支援のサービス、さらに、地域での人と人との交流が制限される中でも、つながりを絶やさないよう地域の活動を支援するなど、大変厳しい環境の中でも、社協としての使命感を持って業務を遂行してきました。

そのような中でも、ふれあいと支えあいのまちづくりである地域福祉推進の歩みを止めることのないよう、地域住民、行政や関係機関・団体と協働しながら、創意工夫した取り組みをすすめました。

【重点目標の概況】

◎「地域共生社会」実現に向けた各種の取り組みの推進

池田市において地域共生社会実現のために、行政と協働し、庁内および社協内の調整と連携につとめ、多機関の協働と地域力の強化を推進しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域への働きかけは計画通りには進みませんでしたが、支えあいの地域づくりに向けた住民の話し合いを継続しました。

◎第４次池田市地域福祉活動推進計画の推進

第4次計画の理念である「社会的包摂」や「地域共生社会」を具現化するために、国のモデル事業である「我が事・丸ごとの地域づくり推進事業」を池田市から受託し、複合した課題や制度の狭間の課題に対応するため、分野を超えた専門機関・団体、専門職の連携を促進する事業と、小学校区など小地域単位で地域住民が主体的に関わる、新たな地域づくりを行う事業に取り組んできました。今年度はコロナ下で計画通りに事業をすすめることはできませんでしたが、可能な範囲で目標に向かって取り組みをすすめました。

◎小地域ネットワーク活動の活性化と関係団体との連携

見守り・声かけや個別支援活動について、ほとんどの地区福祉委員会で組織的な取り組みが行われるようになり、これからさらに進展が期待される段階でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、従来の活動はほとんど休止せざるを

得ない状況に陥りました。そのような中でも、各地区福祉委員会では、小地域ネットワーク活動がめざす「人と人とのつながり・支え合い」を絶やさないよう、新しい生活様式に基づき、工夫を凝らした活動を展開しました。

◎障がい者地域生活支援センター「ひだまり」の円滑な運営

障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して生活を続けていくため、情報提供や福祉サービスの利用援助を中心とした地域生活のための相談に総合的に対応しました。

◎良質な介護サービスの提供と事業経営の効率化

介護保険事業・障がい者総合支援事業等の制度改正の影響、他事業所との競合や介護人材不足等により、在宅福祉関係事業の運営は大変厳しい状況になっていますが、少数精鋭の人員配置と事業の効率化を図り経営の安定化に努めました。

◎経営基盤の安定と活動財源の確保

活動財源の確保については、会員会費の増強、収益事業「喫茶パーラー」の収益性向上などに努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の影響を強く受け、過去にない減収に陥りました。一方、本会が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市民への生活資金貸付業務を行っていることや、感染拡大期に市民の生活を守る在宅福祉サービスを継続したこと等に対し、公的な補助や助成を得ることができ、コロナ下での経営基盤安定化の助けとなりました。

◎地域福祉の情報発信基地としての保健福祉総合センター体制整備

平成29年度から指定管理者となり、管理運営を強化するとともに、地域に開かれ、賑わいのあるセンターを目指し、各種事業を企画実施してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、センター開館時間の短縮や利用制限などを行い感染拡大防止に努めながらの運営となりましたが、そのような中でも、各種企画を継続し、センターの利用促進に努めました。

令和２年度　事業報告

1. 法人運営

〔1〕理事会

開催数:4回

年月日	主　な　議　題	出席者(人)
2.6.3	1. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 2. 職員人事評価実施規則の一部改正について 3. 令和元年度事業報告及び決算について 4. 令和元年度監査報告について 5. 令和2年度第1次補正収支予算について 6. 顧問の選任について 7. 令和2年度第1回評議員会の議題等について	13
2.8.27	1. ソーシャルメディア運用に関する規則の制定について 2. 会長及び常務理事の職務執行状況について	15
2.12.24	1. 職員就業規則等の一部改正について 2. 令和2年度第2次補正予算について 3. 令和2年度第2回評議員会の議題等について	13
3.3.15	1. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 2. 令和3年度事業計画及び予算について 3. 令和3年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 4. 会長及び常務理事の職務執行状況について 5. 令和2年度第3回評議員会の議題等について	13

〔2〕評議員会

開催数3回

年月日	主　な　議　題	出席者(人)
2.6.23	1. 令和元年度事業報告及び決算について 2. 令和元年度監査報告について 3. 理事の選任について 4. 令和2年度第1次補正収支予算について	25
3.1.12	1. 令和2年度第2次補正収支予算について	30
3.3.24	1. 令和3年度事業計画及び予算について	30

〔3〕三役会

開催数:4回

年月日	主　な　議　題	出席者(人)
2.8.18	1. ソーシャルメディア運用に関する規則の制定について 2. 会長及び常務理事の職務執行状況について	10
2.9.28	1. 池田市への予算要望について 2. 令和3年新年互礼会について	10
2.12.15	1. 職員就業規則等の一部改正について 2. 令和2年度第2次補正予算について 3. 令和2年度第2回評議員会の議題等について	10
3.3.2	1. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 2. 令和3年度事業計画及び予算について 3. 令和3年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 4. 会長及び常務理事の職務執行状況について 5. 令和2年度第3回評議員会の議題等について	9

〔4〕研修活動及び行事

開催数:0回

年月日	研修及び行事名	場　所	主な参加者
3.1.8	令和3年(2021年)新年互礼会	池田市民文化会館	＜中止＞

〔5〕役員等連絡調整会議及び研修会

年月日	会議・研修会名	場　　所
書面決議	大阪府市町村社協連合会総会	―
中止	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	(資料送付のみ)
書面決議	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	―
2.7.9	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	府社会福祉会館

2.9.3	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪赤十字会館
2.11.5	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	オンライン
3.2.4	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	オンライン
3.3.2	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	オンライン

〔6〕事務局体制の整備

(1)課長会

社協事務局4課の情報共有と部署間の連携を促進するため、毎月原則最終火曜日に課長会を開催しました。

(2)人事評価制度

池田市において新しい人事評価システムを導入し効果が上がっていることから、社協においても従来の人事評価システムに換えて、池田市の新人事評価システムを簡略化したものを導入し、平成 30 年度から試行的に実施しています。今年度は、社協の事業推進期間にあわせ、評価期間を半年から1年に延ばし、さらに試行を重ねました。

(3)職員ミーティング

職員間の一体感の醸成と、情報共有と部署間の連携を促進するため、原則毎月1回全職員参加による職員ミーティングを開催してきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大期には中止したため、計5回のミーティング開催にとどまりました。

(4)ICT 活用検討チーム

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、社協が従来行ってきた事業(仕事)の進め方にも変化を求められています。特に ICT を活用した事業を推進するために、職員が学びながら必要なインフラ整備、規則の制定、職員研修の開催、各自の担当事業でのICT活用に取り組みました。

〔7〕広報啓発活動

(1)広報紙「いけだの社協」の発行

市民へ社協活動や社会福祉に関する啓発、宣伝を行うために、広報紙を年 4 回発行しました。各号 53,000 部印刷し、市報「広報いけだ」に折り込み、市内全戸に配布しました。またカラーで住民が読みやすく、親しみやすい紙面づくりに取り組みました。

毎号発行するにあたり、例年は地区福祉委員を中心にした広報委員会で、内容の検討や編集を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、広報委員会は開催せず、事務局で編集を行いました。

号	発行日	主 な 内 容
172	2.5.1	① 社協会員募集 ② こんなこと聞いてもいいの？そんな相談こそ「福祉よろず相談窓口へ」 ③ 令和2年度社協事業計画・予算
173	2.8.1	① 今だからこそ、ふれあいを大切に ・集まれなくてもつながっていたい（池田地区） ・手をふりあって、石澄エール（秦野地区） ・やっぱり会うとホッとする（石橋地区） ② 令和元年度事業報告・決算
174	2.10.1	① 赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします！ ② 歳末たすけあい運動にご協力を！ ③ あなたの暮らしの安心のために 日常生活自立支援事業 ④ 「お変わりないですか？」活動通信 Vol.2
175	3.2.1	① 移動販売で買い物支援 ② 買い物と一緒にふれあいも届けたい ③ 「お変わりないですか？」活動通信 Vol.3

(2)ホームページの運営

市民に対して、24時間の情報提供を目的としてホームページを公開し、適宜内容を更新し、積極的に社協事業をPRしました。

また、各地区福祉委員会の活動ページにおいて、地区活動の情報提供に努めました。

〔8〕社協会員

(1)住民会員会費状況

地区名	一 般 会 員		賛 助 会 員		特別賛助会員		名 誉 会 員		会員数合計（口）		会費総額（円）
	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	前年度	今年度	
秦 野	1,087	543,500	61	122,000	8	80,000	0	0	1,212	1,156	745,500
北豊島	692	346,000	62	124,000	10	100,000	0	0	848	764	570,000
細 河	901	450,500	8	16,000	2	20,000	0	0	970	911	486,500
石橋南	351	175,500	105	210,000	11	110,000	1	50,000	494	468	545,500
緑 丘	536	268,000	55	110,000	1	10,000	0	0	591	592	388,000
呉 服	0	0	0	0	0	0	0	0	1,686	0	0
石 橋	484	242,000	46	92,000	5	50,000	0	0	576	535	384,000
神 田	475	237,500	25	50,000	0	0	0	0	560	500	287,500
五月丘	117	58,500	26	52,000	2	20,000	0	0	128	145	130,500
池 田	990	495,000	59	118,000	20	200,000	0	0	1,302	1,069	813,000
伏尾台	441	220,500	7	14,000	3	30,000	0	0	483	451	264,500
事務局	228	114,000	0	0	1	10,000	2	100,000	234	231	224,000
合 計	6,302	3,151,000	454	908,000	63	630,000	3	150,000	9,084	6,822	4,839,000

(2)組織構成会員入会状況

領域		加入団体数 (団体)
Ⅰ	住民代表的な性格のつよいもの	18
Ⅱ	福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	27
Ⅲ	当事者団体的性格のつよいもの	4
Ⅳ	関連分野団体	11
Ⅴ	その他	0
合計		60

〔9〕池田市社会福祉施設連絡会

池田市内の社会福祉施設および社協が連携し、連絡調整、交流ならびに社会貢献事業への協力等を図り、地域福祉の推進ならびに施設福祉の充実・発展に努めることを目的に活動しています。

今年度は、コロナ禍で活動が阻まれる中、大阪しあわせネッワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業にも参加し地域とのつながりを模索する1年となりました。

会員数 (3.3.31 現在)	会員施設種別			
	高 齢	障がい	子ども	その他
16 法人	7 法人	4 法人	4 法人	1 法人

〔10〕災害時の体制整備

大規模災害の発生時、迅速な災害時対応やスムーズな住民への生活支援、災害ボランティアセンターの運営が行えるよう、訓練を行いました。

(1)災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

災害時に、災害ボランティアセンターがスムーズに設置・運営できるようにするため、毎年実施しています。

今回は、コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置についての検討と、災害ボランティアのWEB登録についての検証を行いました。

年月日	場 所	内 容	出席者(人)
2.12.22	池田市保健福祉総合センター大会議室	災害ボランティアセンター設置運営訓練	11

(2)災害時対応訓練

毎年3月に実施していた全職員による災害時対応訓練は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大期にあたっていたため実施しませんでした。

〔11〕各種団体事務局

池田市社会福祉協議会では、地域の住民や各種団体等に対し、社会貢献についての理解を深めるため、下記の団体事務局を担いました。

(1)池田地区募金会 (共同募金運動・歳末たすけあい運動)

(2)日本赤十字社大阪府支部池田市地区・池田市赤十字奉仕団

(3)池田市献血推進協議会

〔12〕寄附者

○一般寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	2.4.8	匿名	50,000	
2	2.7.10	株式会社阪急オアシス	500,000	
3	2.7.14	匿名	30,000	
4	2.9.15	大阪よどがわ市民生活協同組合	600,000	
5	2.10.1	坂 大典	100,000	
6	2.11.30	匿名	400,000	
7	2.12.12	匿名	50,000	
8	3.3.10	NADIX株式会社	50,000	
合 計			1,780,000	

2. 善意銀行運営事業

(1)善意銀行寄附金

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	2.5.18	匿名	5,000	
2	2.10.26	匿名	797	
3	3.3.5	匿名	10,000	
4	3.3.16	匿名	6,800	
合 計			22,597	

(2)善意銀行寄附物品　　(敬称略)

番号	年 月 日	氏　　名	寄 附 物 品
1	2.4.30	池田市日本中国友好協会	不織布マスク 823 枚
2	2.5.15	㈱ﾀﾞｲﾊﾂﾋﾞｼﾞﾈｽｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	フェイスシールド 100 個
3	3.3.25	生活協同組合コープこうべ	お米 80 kg
4	3.3.29	ダイエー池田駅前店	カップ麺 12 個入 21 箱

3. 地域福祉事業

〔1〕地区福祉委員会活動

地区福祉委員会は、住民が主体となって「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進めるために、概ね小学校区ごとに組織されており、池田市内の 11 地区に設置されています。大阪府の「小地域ネットワーク活動推進事業」により、11 地区すべてが行政・福祉関係者などと連携しながら、グループ援助活動・個別援助活動に取り組んでいます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、活動を中止することが度々ありました。そのような中でも、手紙等の配布活動や、オンラインサロンといった、今できる工夫を重ねた地域福祉活動に取り組むとともに、誰もが住みよいまちづくりの推進に取り組みました。

(1)活動支援業務　　(単位:回)

運営に関する相談	企画	会議・研修・活動参加	地区活動の対応	広報	研修(講師)依頼関係	地区以外の問い合わせ	その他	合計
121	94	98	879	56	4	28	196	1,476

(2)各地区福祉委員会の活動

秦野	委員長	大塚 寛治	委員数	78
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし秦野」53 号(5,850 部)全戸配布 「秦野地区福祉委員会紹介」(1,200 部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(3か所)		らくだクラブ	
	高齢者親睦会			
子育て	子育てサロン		ラ・クーダのイベントに協力	
青少年	登校見守り			
障がい	はがき送付		配食	
	電話での様子確認			
見守り	組織的な見守り・声かけ			
委員研修	シニアの日常生活の心得		日常生活におけるトラブルと詐欺	

北豊島	委員長	大井　文夫	委員数	69
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉きたてしま」発行(5,400部)全戸配布			
高齢者	手作りカード配布		マスク配布	
	敬老お祝品配布		配食	
その他	男性料理教室レシピ・手紙配布		バザー手作り準備の会	
見守り	組織的な見守り声かけ			

細河	委員長	中村　昌弘	委員数	27
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくしほそかわ」64・65号(各 1,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
子育て	ホップランドに協力			

石橋南	委員長	西岡　義晃	委員数	40
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし石橋南」51号(5,800部)全戸配布 特別号(500部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)		お見舞い品配布	
子育て	子育てサロン			
青少年	校区見守り			
世代間	石橋南小生徒へ焼き芋配布			
障がい	マスク配布		クリスマス会	
その他	清掃活動			
見守り	組織的な見守り声かけ			

緑丘	委員長	高木　多嬉子	委員数	27
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「みどり」37号(4,230部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
世代間	おしゃべりサロン「グリーンカフェ」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	男性料理教室			

呉服	委員長	尾川　由紀恵	委員数	72
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉くれは」102号(6,380部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)		自治会・町会単位のふれあい活動	
青少年	下校時見守り			
世代間	おしゃべりサロン「まったりサロン」			
見守り	組織的な見守り声かけ			

石橋	委員長	村田　美代子	委員数	44
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉いしばし」(4,300 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン		高齢者への年賀状	
	愛の一声運動			
	手紙等配布・送付		マスク配布	
子育て	子育てサロン		LINE 配信活動(オンラインサロン)	
	クリスマスプレゼント送付		はがき送付	
青少年	石橋小児童の登校見守り			
世代間	おしゃべりサロン「ふれあいティーサロン」(2 か所)			
その他	清掃活動		ベルマーク整理活動	
	ワンコイン・ヨガ			
	地域内危険個所や高齢者の状況把握と情報交換			
見守り	組織的な見守り声かけ		災害時要支援者訪問	

神田	委員長	上島　守	委員数	60
【事業内容】				
広報啓発	「会員だより」(700 部) 会員配布			
高齢	ふれあいサロン		安否確認	
	歳末見舞品配布		ハートフル神田クリスマスカード配布	
子育て	ひかりこども園花壇整備			
青少年	校区内パトロール		神田小学校感染予防対策用品配布	
世代間	おしゃべりサロン「ほっこりサロン」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	ラジオ体操			
見守り	組織的な見守り声かけ			

五月丘	委員長	村上　喬	委員数	20
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉さつきがおか」(2,950 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン			
子育て	子育てサロン		LINE 配信活動(オンラインサロン)	

池田	委員長	和佐　義顕	委員数	67
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「池田校区ふくし」54 号(7,750 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(4 か所)		クリスマス会	
	配食		塩あめとお茶配布	
	はがき配布			
青少年	池田小登校時見守り			
世代間	おり紙教室		チョット！おいでやす	
	おしゃべりサロン「ワクワクサロン」(つながり・支え合い活動推進事業)			
	ペン習字(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	男性料理教室			
見守り	組織的な見守り声かけ			
委員研修	夏期研修		秋期研修	

伏尾台	委員長	小椋 正徳	委員数	55
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし伏尾台」12月1日号(2,300部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン		ウォーキングの会	
	いきいき百歳体操		ワンコインたすけあい	
	カーボランティア		車いす貸出	
青少年	青パト事業		登下校時見守り隊	
	花いっぱいプロジェクト事業協力		夏休みラジオ体操	
世代間	おしゃべりサロン「おとなのフリースペース」			
	おしゃべりサロン「ティーサロン5丁目」			
	おしゃべりサロン「しゃべり場ティーサロン爽」(つながり・支え合い活動推進事業)			
	おしゃべりサロン「しゃべり場ビューハイツ」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	男性料理教室		清拭布づくり	
	ラジオ体操(3か所)		清掃活動	
	花の会			
見守り	組織的な見守り声かけ			
委員研修	Zoom体験会			

(3)地区福祉委員長会

各地区福祉委員会から代表者が集まり、社協からの情報提供と地区間交流などを図りました。

回	年月日	主な議題	出席者(人)
1	2.5.21 (中止)	① 令和2年度小地域ネットワーク活動推進事業助成金の、指定口座への振込確認について ② つながり・支え合い活動推進事業助成金の交付申請について ③ 各地区福祉委員名簿提出のお願い	報告書 資料送付
2	2.6.24	① 令和2年度委員長会会長・副会長について ② 社協会員会費について ③ 令和2年度小地域ネットワーク活動推進事業助成金について ④ 「お変わりないですか？」活動について	17
3	2.7.16	① 情報共有 活動自粛後の各地区の活動状況について(会員募集状況含む)	18
4	2.9.17	① 令和2年度つながり・支え合い活動推進事業助成金の交付について ② 赤い羽根共同募金街頭募金のお願い ③ 「お変わりないですか?」活動その後の展開について ④ よろず相談窓口再開と令和元年度 CSW 活動報告集について	17
5	2.11.19	① 令和2年度第1回社協会費還元金交付について ② 赤い羽根共同募金街頭募金の報告 ③ 歳末たすけあい街頭募金のお願い	17

6	3.1.14 （中止）	① 歳末助け合い街頭募金報告 ② 令和2年度社協会費還元金交付について ③ 令和2年度事業報告書・決算書、令和3年度事業計画書・予算書 ④「お変わりないですか？」活動の切手及び切手の取り扱いについて ⑤ 小ネットかわら版 21 号発行・配布について	報告書 資料送付
7	3.1.28	Zoom 体験会　:状況確認及び情報交換	10
8	3.3.18	① 社協会費募集状況と会費資材数量確認について ② 福祉よろず相談窓口について ③ 食でつながる共生のまちいけだについて ④ 地区福祉委員会専用 LINE について ⑤ にじの会の制度改正について ⑥ 協議事項:理事選任について	17

〔2〕小地域ネットワーク活動推進事業

大阪府と市の補助事業として行っている本事業は、地区福祉委員会単位で、地域に住む要援護者が安心して生活できるように、地域住民による助け合い活動を展開し、あわせて地域における福祉の啓発と住みよい福祉のまちづくりを進めるものです。

具体的な方法として、地区福祉委員会で進めるグループ援助活動と個別援助活動があり、社協はその推進を援助することになっています。

(1)各地区の活動状況

○グループ援助活動

	ふれあいサロン		子育てサロン		おしゃべりサロン		男性料理		世代間交流		障がい者(児)		昼食会		その他	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
秦野	11	169	1	20	0	0	0	0	0	0	3	40	0	0	4	66
北豊島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2,241
細河	13	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	17	131	6	81	0	0	0	0	1	300	2	46	0	0	1	540
緑丘	23	500	0	0	0	0	5	24	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	4	24	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋	4	110	12	228	19	145	0	0	0	0	0	0	0	0	13	903
神田	27	208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五月丘	1	5	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24
池田	15	126	0	0	4	58	1	12	0	0	0	0	0	0	6	190
伏尾台	106	800	0	0	12	76	2	13	0	0	0	0	0	0	330	5,283
合計	221	2,199	20	337	37	290	8	49	1	300	5	86	0	0	372	9,254

○個別援助活動

	対象者数	活動者数	見守り・声かけ	外出介助	買い物	家事援助	配食	その他
秦野	139	38	7,785	8	5	7	90	20
北豊島	187	45	2,168	17	38	19	81	193
細河	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	1,535	34	3,365	9	7	0	0	43
緑丘	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	859	72	2,806	30	24	259	0	511
石橋	47	12	1,953	43	159	181	521	0
神田	423	16	1,274	12	0	4	3	20
五月丘	0	0	0	0	0	0	0	0
池田	257	43	7,721	3	10	14	98	67
伏尾台	133	32	1,060	920	10	19	0	47
合計	3,580	292	28,132	1,042	253	503	793	901

(2)小地域ネットワーク活動推進委員会

年月日	主な内容	参加者(人)
2.12.1	① 自己紹介 ② 正副委員長の選出について ③ 池田地区福祉委員会の活動報告 「池田地区ブロック活動のスタートと活動の変化」 ④ 近況報告と情報交換	13

(3)広報啓発活動

○ホームページによる周知
○公式 YouTube チャンネルでの、動画公開
・神田地区ふれあいサロン「サンタの折り紙づくり」
・石橋地区ヨガ教室～ヨガで呼吸を整えよう
・石橋地区ふれあいサロン～いつもの体操をやってみよう～
・石橋地区子育てサロン「みんなであそぼう」(手遊び・ふれあい遊び)①②③

○小ネットかわら版の発行(1,000 部)
小地域ネットワーク活動を推進している地区福祉委員会や関係者に対し、活動目的について共通認識を持ってもらうとともに、各地区の実践事例を紹介し、活動の参考にしてもらうために発行しました。

号	年月日	主 な 内 容
21	3.2.1	「普段からのつながりの大切さを実感」 ① コロナ禍での活動を振り返ろう 1.「お変わりないですか？」活動実施（全地区） 2. 公式 YouTube チャンネル開設（石橋地区） 3. おしゃべりサロン de マスクプロジェクト（呉服地区） 4. コロナ禍でも継続できた「助け合える仲間づくり」 ラジオ体操（伏尾台地区） 5. 地域の寺を活用した子育てサロン（石橋南地区） 6. ふれあいサロンでの、フレイル予防体操（細河地区） ② 池田地区福祉委員会の活動を紹介します 1. ブロック制に至ったきっかけ 2. 小地域ネットワーク活動推進委員会での活動発表 3. おしゃべりサロン（上池田会館） 4. おりがみ教室 5. 居場所チョット！おいでやす 6. おっちゃんずヨガ 7. 子育てサロン×YouTube オンラインサロン ③ 令和2年度地区福祉委員会小ネット News （新規活動紹介） ④ LINE を活用した、新たなつながりづくり（五月丘地区） ・子育てサロンでの活用について ⑤ 池田市社協キャラクターの地区広報物掲載・申請について ⑥ 地区福祉員会の活動動画紹介

〔3〕つながり・支え合い活動推進事業

年齢、障がいなどに関係なく、だれもが参加できる出会いの場、住民同士のつながり、支えあいの場を増やすこと、また、その活動が継続的に推進できるよう、平成 30 年度に創設しました。

地区名	名称・開催日時	年間回数	のべ人数	
			参加者	スタッフ
緑丘	「グリーンカフェ」 毎月第 3（金）14:30～16:00	2	3	8
神田	「ほっこりサロン」 毎月第 3（木）10:00～11:00	4	27	12
池田	「ワクワクサロン」 7 月 10 月 12 月 2 月 13:30～15:00	2	180	21
	「ペン習字教室」 毎月第 4（火）14:00～15:00	6	39	26
伏尾台	「しゃべり場ティーサロン爽」 毎月第 1・3（火）10:00～12:00	8	67	31
	「しゃべり場ビューハイツ」 毎月第 3（火）13:30～15:30	7	55	

4. ボランティアセンター事業

〔1〕ボランティアセンター

ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方や団体をコーディネートするとともに、ボランティアの育成や事業の啓発などを行いました。

(1)需給調整業務

①内容別件数　（件）

活動希望	活動依頼	相談・問い合わせ	その他
43	26	207	72

②ボランティア活動希望者内訳

(A)年齢・男女別　（人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	1	1	2	3	4	2	3	0	16
女	0	10	3	6	5	2	1	0	27
計	1	11	5	9	9	4	4	0	43

(B)希望内容(複数回答)　（件）

1	活動内容分類	件数	主な内容
2	保育・子どもに関わる活動	15	保育Ｖ、フリースクール、子ども食堂など
3	何か役に立つ活動をしたい	12	話相手、雪かき、ゴミ清掃など
4	障がい者に関わる活動	9	障害者施設のお手伝い、手話Ｖなど
5	高齢者に関わる活動	7	高齢者施設でのお手伝い、傾聴活動
6	趣味・特技を生かした活動	6	将棋、ピアノ演奏、保護猫
7	国際関係活動	5	日本語教室のボランティア、国際交流等
8	医療関係の活動	1	看護、健康相談
合　計		55	

(C)登録ボランティアのべ人数　（人）

	個人	グループ	合計
男	36	159	195
女	54	425	479
計	90	584	674

③ボランティア活動依頼内訳

(A)依頼者数

〈個人〉　（人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	0	0	0	0	1	0	1	0	2
女	0	0	1	0	0	0	3	0	4
合計	0	0	1	0	1	0	4	0	6

〈団体〉 （件）

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ・団体	福祉施設	行政機関	包括	支援学校	学校	医療機関	その他	合計
2	7	0	1	0	10	0	0	20

(B)依頼内容

（件）

依頼内容		件数	主な内容
外出		0	
	通院・通所・通学介助	0	
	外出・旅行介助	0	
	運転ボランティア	0	
生活介助		2	
	家事援助・身体介助	2	朝のゴミ出し、庭の掃除
	入浴・入浴後の介助等	0	
	その他	0	
友愛活動		11	
	保育・遊び相手	2	託児保育。フリースクールも児童の遊び相手
	話し相手・安否確認	5	施設入居者の傾聴、話し相手、傾聴
	イベント手伝い	0	
	出し物披露	1	デイサービスでのコーラスイベント
	将棋・囲碁などゲーム相手	2	将棋の指導。子どもたちの相手。
	その他	1	外出して社会貢献できる場が欲しい
技能提供		5	
	朗読・点訳・拡大本	0	
	手話・筆記通訳	1	新一年生の生徒に手話指導
	作業手伝い	0	
	日曜大工	1	押し入れの修理
	日本語指導	0	
	手芸・書道・折紙・体操等の指導	1	絵手紙や折り紙など、持って帰ることが可能なボランティア
	その他	2	古布の裁縫、施設への寄付
小計		18	
その他		8	小学6年当事者理解、人権学習　:1校、4年視覚障がい者交流授業:3校(内オンライン授業1校)、2年生聴覚障がい者交流事業:2校(内オンライン授業1校)、人権学習:高校1年1校・中学1年1校
合計		26	

(C)対応状況　　(件)

依頼対応状況	件数
ボランティア紹介	14
制度等紹介	2
取り下げ	0
調整中	6
調整つかず	4
ボランティアと認められない	1
その他	0
合計	27

(2)ボランティア講座・研修会　　(人)

講座名	実施日・期間	場所	受講者数	内容
手話ボランティア講座(入門)	R2.10.5～3.3.29 毎週月曜日 計18回	共同利用施設池田駅前北会館	10	基礎的な手話の理論・技術を学び、手話ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師:手話サークル「秋桜」 谷順子氏
手話ボランティア講座(基礎)	9/10～3/18 毎週木曜日 計23回	保健福祉総合センター	中止	基礎的な手話の理論・技術を学んだものが、さらなるレベルアップを図るための知識と技術を身につけ、ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 ※開催人数に満たず中止
要約筆記ボランティア講座	10/5～11/30 毎週月曜日 計8回	保健福祉総合センター	中止	基礎的な要約筆記の理論・技術を学び、要約筆記ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 ※開催人数に満たず中止
音訳ボランティア講座	10/1～11/26 毎週木曜日 計9回	保健福祉総合センター	中止	基礎的な音訳の理論・技術を学び、音訳ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 ※講師が派遣されず中止
ボランティアきっかけ講座	2.10.13	保健福祉総合センター	1	これからボランティア活動を行おうとする方に対しての入門講座を開催 講師:センターボランティアコーディネーター
	2.12.18		2	
	3.3.15		3	

(3)広報啓発

①ボランティアセンター情報「ふれあい」

ふれあい編集ボランティアによる編集会議(2回開催)と編集作業を実施しました。市報「広報いけだ」への折り込みとともに公共施設、学校等へ配布しました。各号 53,100部発行しました。

号	発行日	主な内容
85	2.5.1	1. ボランティアサークル たのしいおりがみ グループと活動の紹介 2. 手話サークル 秋桜 グループと講座の紹介 3. ボランティア春講座延期・収集ボランティアのお知らせ 4. ボランティア募集

86	2.10.1	1. 新しい生活様式のボランティア活動の紹介 2. ボランティア活動のお困りごとの Q&A 3. ボランティア秋講座のご案内 4. ボランティア募集・グループからのお知らせ
87	3.2.1	1. 傾聴ボランティアサークル「心の倉庫」オンライン配信の講座紹介 2. 音楽演奏ボランティア「オリオン」 活動と You tube 活動紹介 3. 新ボランティアグループ紹介　ボランティア講座などお知らせ 4. ボランティア募集

②センターホームページの運営

定期的に更新を行い、市民へのボランティア情報提供を行いました。

③他紙への情報提供

市報「広報いけだ」へボランティア情報を提供しました。

(4)会議等の開催状況

①ボランティアセンター運営委員会

センターの活動、運営について協議検討を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加者(人)
2.11.26	令和 2 年度上半期事業報告ほか	10

(5)登録ボランティアグループ・ボランティア連絡会への支援

センター登録32グループ並びにボランティア連絡会に対し、以下の内容について支援を行いました。

- グループ運営や助成金申請などの相談
- センター分室の貸出(410 件)
- コピー機の貸出(有料)
- 連絡 BOX とロッカーの貸出
- 備品貸出(OHP、パソコンなど)
- グループのメンバー募集や活動
- イベントの PR

センター登録ボランティアグループ一覧			
種類	グループ名	種類	グループ名
高齢者	池田傾聴「さつき」	国際交流	池田日本語ボランティア友の会
	傾聴ボランティア「心の倉庫」	趣味・特技をいかした活動	NPO 法人池田アマチュアマジシャンズ
高齢者・障がい者	ちゑの輪		NPO 法人若葉会
	ひつじ		たのしいおりがみ
視覚障がい者	点訳サークル「むつらぼし」		園芸ボランティア「パンジー」
	拡大写本グループ「アイリス」		むじかぞく
	池田声の図書		メロディー
	パソコン点訳会		ナツメロンズ

聴覚障がい者	手話サークル「アゼリア」	その他	池田サラリーマンOB会
	ダイハツ手話部		NPO 法人オアシス
	手話サークル「秋桜」		シルバーアドバイザーいけだ
	ボランティアサークル「フレンド」		NALCわかばの会池田
	いけだ筆記通訳グループ「すみれ」		アクティブ S-プラス
子ども	保育ボランティア「だっこ」		宣真ボランティアサークル
収集・リサイクル	古布の会		分かち合いの会―ひかり
	てるてるBOOK		虹のぽけっと
			スペース縁@池田

(参考)池田市ボランティア連絡会
ボランティアグループ相互の連絡調整や活動の啓発及び社会福祉の向上を図ることを目的に、自主的に組織されています。(7 団体、個人ボランティア 1 人が登録)

(6)収集活動

以下のものをセンターで収集し、各団体へ提供しました。

収集物	提供先	目的
毛糸、ハンカチ、ネクタイ	ひつじ	手芸作品を作成・販売し、障がい者とのレクリエーション費用などへ
古布	古布の会	病院や施設利用者の清拭布
ベルマーク	ベルマーク教育助成財団	養護・盲・聾学校および小規模校、または、災害被災校へ寄付
古切手、プリペイドカード	誕生日ありがとう運動本部	知的障がい者のための社会啓発活動

(7)ボランティア総合補償制度受付

ボランティアや非営利有償活動中におこる様々な事故において、活動者を補償する保険の受付業務を行いました。

保険種類	取扱人数(人)
ボランティア活動保険	3,319
ボランティア・市民活動行事保険	5,048
非営利・有償活動団体保険	164
移送中事故傷害保険	0
合　計	8,531

〔2〕福祉教育の推進

児童・生徒の福祉意識を高めるために、学校での福祉教育を推進するため、市教育委員会と連携しながら、研修会や交流会・相談などを実施しました。

(1)学校への講師・ボランティアの派遣調整

市内小・中・高校教員からの要請により、福祉・ボランティア関連授業に対し、指導案や講師の調整、職員派遣などを行いました。

学年	実施校数(校)	依頼内容
小学2年生	2	聴覚障がいがある方による話・交流、手話指導
小学2年生	3	視覚障がいがある方による話・交流、ガイドヘルプ体験、点字指導
小学6年生	1	視覚障がいがある方による話・交流、人権学習
中学1年生	1	障がいがある方の話(視覚・聴覚・知的・精神・身体)
高校1年生	1	障がいがある方の話(視覚・聴覚・知的・精神・身体)

(2)相談業務

市内小・中・高校教員との福祉・ボランティア関係授業内容の相談などを行いました。

(3)池田市教職員研修会

市教育委員会学校教育推進課と共催で、教職員向けの福祉教育・ボランティア学習の研修会を開催しました。

年月日	場所	受講者(人)	内容
2.10.28	池田市役所 大会議室	25	「学校でどのように福祉教育を教えるのか」 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 野尻紀恵氏

5. ファミリー・サポート・センター事業

地域において、育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、有償で助け合う相互援助の会員組織である「いけだファミリー・サポート・センター」事業を、池田市からの委託事業として平成13年度から立ち上げてサービスを開始し、今年度も引き続き事業を実施しました。

2人配置されているアドバイザーは、サービスの依頼があると、近隣の援助者を探して事前に両者を引き合わせ(事前打ち合わせ)、双方が納得すればサービスが開始されます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が例年より少なく、また、講習会も一部中止せざるを得ない状況になりました。

(1)事業実績(令和2年4月～令和3年3月)

・新入退会者数　（人）

	依頼会員	援助会員	両方会員	合　計
入会者数	53	7	2	62
退会者数(－)	91	7	8	106
前年からの継続会員数	635	229	74	938
合　　計	597	229	68	894

・事前打ち合わせ・活動件数・活動回数・活動時間

事前打ち合わせ件数	活　動　件　数	活　動　回　数	活　動　時　間
37件	226件	687回	1394.5時間

・活動内容別回数と時間

活　　動　　内　　容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保育所・幼稚園の送り	8	37	37.0
保育所・幼稚園の迎え	58	144	203.5
保育所・幼稚園の送迎	0	0	0
保育所・幼稚園の登園前・帰宅後の預かり	27	62	176.0
留守家庭児童会の送り	10	121	128.5
留守家庭児童会の迎え	7	10	10.0
留守家庭児童会の送迎	1	3	3.0
留守家庭児童会の登園前・帰宅後の預かり	0	0	0
児童の送迎	35	115	135.5
児童の預かり	4	5	17.0
子どもの病後時の援助	0	0	0
保育所・学校等休み時の援助	7	12	56.5
保育所等施設入所前の援助	0	0	0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	13	76	249.0
保護者等求職中の援助	0	0	0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	11	25	86.0
保護者等の買い物等外出の場合の援助	32	45	147.0
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	2	2	9.5
その他	11	30	136.0
合　　計	226	687	1394.5

(2)広報啓発活動

センター事業の趣旨を市民に周知するため、PR活動を積極的に推進しました。

・機関紙の発行

会員への情報提供と交流を目的として、機関紙「FAMILY　SUPPORT　通信」第39号、第40号各1000部を発行し、会員と関係者に配布しました。

・「いけだの社協」「広報いけだ」に会員募集記事掲載
「いけだの社協」「広報いけだ」に会員募集記事を掲載し、会員確保に努めました。
・出張説明会の開催
子育て支援拠点「わたぼうし」参加者を対象に出張説明会を行いました。
・1歳半健診での説明
毎月実施される1歳半健診で、センター事業の紹介を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できませんでした。

(3)講習会・交流会

子どもの心身の発達に関する基礎知識と保育の留意点や事故予防についての知識を習得するための会員向け講習会を実施しました。

今年度から、会員基礎講習会の回数を3回に増やし、より多くの方に受講していただけるように配慮しました。

また、イベントを通して会員同士の親睦を図り、情報交換や意見交換を行う場として、交流会を開催しました。

（人）

名　称	年月日	場　所	内　容	参加者数
第1回 会員基礎 講習会	2.8.19 2.8.25 2.8.27	保健福祉 総合センター	中止	－
第2回 会員基礎 講習会	2.10.8	保健福祉 総合センター 講習会室	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協　職員 ○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会　葉菜の会 管理栄養士	5 (保育:0)
	2.10.15		○心の発達とその問題 講師:池田市発達支援課心理相談員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課　保育士	6 (保育:0)
	2.10.22		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課　保健師	7 (保育:0)
第3回 会員基礎 講習会	2.12.4	保健福祉 総合センター 講習会室	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協　職員 ○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会　葉菜の会 管理栄養士	4 (保育:0)
	2.12.11		○心の発達とその問題 講師:池田市発達支援課心理相談員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課　保育士	3 (保育:0)

	2.12.17		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課　保健師	0
第1回 救命救急 講習会	2.9.9	池田市 消防本部	中止	-
第2回 救命救急 講習会	-	池田市 消防本部	中止	-
会員交流会	2.11.21	保健福祉 総合センター 大会議室	・ハーバリウム体験 講師:アトリエブルー　上山　衣美さん	大人 16 子ども 8

※いずれの講習会・交流会も一時保育あるいは、子ども同伴可。

(4)池田市子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)給付事業利用状況

〔(1)の実績に含まれるものの中から抜出〕

池田市が保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるよう、満1歳から満3歳までの子どもの保護者に子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)を配布する事業で、平成 23 年 10 月から開始されました。ファミリー・サポート・センターも一時預かり事業者として登録し、事業に協力しました。

・活動内容別回数と時間

活　動　内　容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0
保護者等求職中の援助	0	0	0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	0	0	0
保護者等の買い物等外出の場合の援助	12	22	70
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1	1	2.5
その他	5	8	22
合　計	18	31	94.5

6. 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活がおくれるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

援助の内容は、対象者の福祉サービス利用の手続きや利用料の支払(福祉サービスの利用援助)、年金受領や医療費・税金等の支払手続き(日常の金銭管理サービス)、年金証書・預貯金の通帳などの預かり(書類等預かりサービス)があります。

(1)問い合わせ・相談援助件数

（件）

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
対象者 / 事項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明その他		
問合せ件数	12	1	7	3	0	23
初回相談件数	14	1	12	0		27
相談援助件数	206	66	308	0		580
合計	232	68	327	3	0	630

(2)契約・終了件数

（人）

対象者 / 事項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
昨年度末契約者数	4	1	8	0	13
今年度契約者数	7	2	5	0	14
今年度終了数	6	0	3	0	9
年度末契約者数	5	3	10	0	18

(3)生活支援員活動件数(契約後活動件数)

（件）

対象者 / 事項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
総活動件数	156	98	262	0	516
うち生活保護受給者分	49	44	112	0	205

(4)広報啓発活動

○「いけだの社協」10月 1 日号に掲載

7. 大阪府生活福祉資金貸付事業

大阪府社会福祉協議会からの委託により、大阪府生活福祉資金貸付事業の相談・受付業務を行いました。また、緊急小口資金、総合支援資金は、令和 2 年 3 月 25 日より新型コロナウイルス特例貸付が開始されました。

(1)福祉資金・教育支援資金

		申 込		貸付決定		備考
		件数	金 額	件数	金 額	
福祉資金		3 件	3,175,000 円	3 件	3,175,000 円	
教育支援資金	教育支援費	3 件	1,451,000 円	3 件	1,451,000 円	
	就学支度費	2 件	600,000 円	2 件	600,000 円	
合計		8 件	5,226,000 円	8 件	5,226,000 円	

(2)緊急小口資金

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
6件	600,000円	6件	600,000円	

(3)総合支援資金

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
2件	750,000円	2件	750,000円	

※臨時特例つなぎ資金・不動産担保型生活支援資金(土地担保)・生活復興支援資金は、なし。

(4)緊急小口資金(特例)

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
706件	136,200,000円	700件	135,000,000円	

(5)総合支援資金(特例)

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
656件	353,250,000円	646件	348,150,000円	

(6)総合支援資金(延長)

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
385件	165,750,000円	367件	156,750,000円	

(7)総合支援資金(再貸付)

申込		貸付決定		備考
件数	金額	件数	金額	
333件	166,650,000円	333件	166,650,000円	

(8)相談件数(来所・電話)　　(人)

福祉資金・教育支援資金	緊急小口資金	緊急小口資金(特例)	総合支援資金	総合支援資金(特例)	臨時特例つなぎ	不動産担保	生活復興	合計
61	29	10	1,762	672	0	0	0	2,534

8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)設置事業は、地域包括支援センターの圏域(4圏域)にそれぞれ1人計4人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域において、援護を要する高齢者、障がい者、子育て中の親などとその家族等への支援や地域福祉活動のネットワーク化を行い、また、同時に要援護者等の自立生活支援のために基盤づくりを行うなど、地域福祉の向上に努めました。

(1)CSW の配置拠点と担当小学校区

区　　分	担当小学校区	配置拠点
池田市北部	秦野小・細郷学園校区	社協
池田市中部	五月丘・池田小学校区	
池田市西部	緑丘・呉服・神田小学校区	
池田市南部	北豊島・石橋南・石橋小学校区	

(2)地域福祉の計画的な推進及びセーフティネット体制づくり

(回)

活動内容	北　部	中　部	西　部	南　部	計
市町村地域福祉計画の支援	0	0	0	0	0
住民座談会の開催	0	0	0	0	0
住民活動のコーディネート	0	1	0	14	15
支援を必要とする人の組織化支援	0	0	0	0	0
既存の公的サービス等との協働	14	9	7	155	185
新たなサービスに関する助言・提言	0	0	0	2	2
ケース検討会	2	4	3	22	31
地域住民を対象にした研修会	6	3	4	5	18
各種サービスの利用申請支援	7	2	0	33	42

(3)支援を必要とする人等に対する見守り・相談

○コミュニティソーシャルワーカーの各種研修会・視察等参加状況

適切な支援サービスの存在や利用方法等に関する情報提供及び利用啓発を行うために、ひきこもりや精神疾患についての研修への参加や視察などを行いました。

○支援を必要とする人などからの相談

支援が必要な人からの相談を受け、状況を整理し、必要な制度やサービスを検討するとともに、地域で活動する民生委員や地区福祉委員につなぎました。また、制度・サービスにつながりにくいケースや制度・サービスの狭間にあるケースなどについても、相談に応じ、課題解決に向けて積極的に活動を行いました。

また、市民が相談しやすいように LINE を使った相談窓口も開設しました。

①相談対象者別　　（件）

相談対象者	相談件数(延べ)				
	北部	中部	西部	南部	計
高齢者	67	77	70	268	482
(うち)ひとり暮らし高齢者	38	46	9	103	196
(うち)高齢者のみの世帯	5	1	0	1	7
障がい者	48	397	175	918	1,538
(うち)身体障がい者	0	5	10	22	37
(うち)知的障がい者	19	23	27	272	341
(うち)精神障がい者	29	369	138	624	1,160
子育て中の親子	104	194	34	47	379
一人親家庭の親子	105	189	32	13	339
青少年	48	248	63	119	478
DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者	1	0	24	10	35
ホームレス	0	0	0	0	0
外国人(中国帰国者を含む)	0	1	0	0	1
その他	76	94	119	439	728
合　　計	449	1,200	517	1,814	3,980

②相談内容別　　（件）

相談内容	相談件数(延べ)				
	北部	中部	西部	南部	計
福祉制度・サービスに関する相談	58	24	59	490	631
生活に関する身近な相談	129	137	229	610	1,105
健康・医療に関する相談	64	154	90	330	638
生活費に関する相談	44	7	17	68	136
就労に関する相談	43	71	24	121	259
財産管理・権利擁護に関する相談	8	0	10	54	72
消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
多重債務に関する相談	8	0	1	4	13
DV・虐待に関する相談	12	6	48	9	75
地域福祉活動・ボランティア活動に関係する相談	28	59	6	130	223
住宅に関係する相談	12	1	16	152	181
子育て・子どもの教育に関する相談	13	215	26	8	262
その他	6	0	12	2	20
合　　計	425	674	538	1,978	3,615

(4)居場所「つむぎ」

課題を抱えた当事者やその家族、住民、関係機関が集まる居場所「つむぎ」を設置し毎月1回(8月休み)開設しました。

年月日	参加者(人)	年月日	参加者(人)
2.6.9	10	2.12.8	6
2.7.14	6	3.1.12	8
2.9.8	8	3.2.9	8
2.10.13	12	3.3.9	7
2.11.10	12		

※3.2.9は、サポステ(地域若者サポートステーション)の説明会を実施

※4、5月は、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止

(5)広報啓発活動

○ 全地区民生委員児童委員定例会に出席。活動報告や役割、事例を説明

○ 保健所・SSWなどの関係機関・団体へ活動報告や活動紹介

9. 意思疎通支援事業

聴覚や音声、言語機能に障がいのある方で、公共機関に行くなどの日常生活のうえで必要な外出や、講演会や研修会などの各種行事に参加する場合にコーディネーターが相談を受け、手話通訳者や要約筆記通訳者を派遣し、日常生活や社会参加を支援しています。

(1)登録通訳者数

登録通訳者数(人)	
手話通訳者	要約筆記通訳者
14	9

(2)利用状況

手話通訳		要約筆記	
利用者数	派遣延回数	利用者数	派遣延回数
6 人	42 回	6 人	48 回

10. 紙おむつ給付事業

在宅で常時紙おむつを使用されている高齢者に紙おむつの給付券を支給し、経済的な負担を軽減しています。池田市から委託を受けて実施しています。

・利用状況

対　象	利　用　者　数	延 利 用 者 数
高　齢　者	82 人	678 人

11.生活支援体制整備事業

高齢化が進む中、池田市に居住する高齢者が、住み慣れた地域で自立した日常生活がおくれるよう、地域の生活支援サービスを担う事業者、団体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制を充実していくとともに、高齢者の社会参加の活動を一体的に推進し、構築していきます。

池田市からの受託事業として、平成 28 年 11 月より開始しました。第1層生活支援コーディネーターを社協に配置し、4包括圏域に第2層生活支援コーディネーターを配置しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため活動の自粛が求められる中、新しい生活様式の中で、開催方法を模索しながらの1年となりました。

(1)第1層地域支え合い推進協議体委員会の開催

回	年月日	場　所	主 な 議 題	出席者（人）
1	2.8.5	保健福祉総合センター会議室 1	① 新メンバー自己紹介 ② 近況報告 ③ 2層の進捗状況	18

(2)第1層・第2層生活支援コーディネーター担当者会議の開催

生活支援コーディネーター間の連携を密に情報共有し、問題解決に取り組みました。

回	年月日	場　所	主 な 議 題	出席者（人）
1	2.4.9	保健福祉総合センター研修室2－3	新型コロナウイルス感染予防のため中止	
2	2.5.14	保健福祉総合センター研修室2－3	新型コロナウイルス感染予防のため中止	
3	2.6.11	保健福祉総合センター研修室2－1	① 令和2年度メンバー状況について ② 移動販売車について ③ 今年度の活動について	8

4	2.7.9	保健福祉総合センター研修室２－１	① 新型コロナウイルス感染予防のため、事業計画修正 ② 移動販売開始報告について	7
5	2.9.10	保健福祉総合センター研修室２－１	① 2層の進捗状況報告 ② ダイエー池田駅前店の移動販売について	5
6	2.10.8	保健福祉総合センター研修室２－１	① ダイエー池田駅前店の移動販売について ② 2層の進捗状況報告	7
7	2.11.12	保健福祉総合センター研修室２－１	① ダイエー池田駅前店の移動販売について ② 2層の進捗状況報告	16
8	2.12.10	保健福祉総合センター研修室２－１	① ダイエー池田駅前店の移動販売について ② 2層の進捗状況報告	5
9	3.1.14	保健福祉総合センター研修室２－１	① リモート会議の体験会 ② 2層の進捗状況報告	4
10	3.2.10 ホスト 社協	保健福祉総合センター研修室２－1リモート会議ハイブリッド方式	① ダイエー池田駅前店の移動販売について ② 2 層の進捗状況報告	6
11	3.3.11 ホスト 池田市	保健福祉総合センター研修室２－１リモート会議ハイブリッド方式	① ダイエー池田駅前店より、移動販売について ② 次年度の計画について	7

(3)第2層地域支え合い推進協議体委員会への参加

2層生活支援コーディネーターの会議・活動に出席し、課題整理や問題解決のコーディネートを2層の生活支援コーディネーターと行いました。

回	年月日	場　所	主 な 議 題	出席者（人）
1	2.6.26	ほほえみの園4階	「えがおの会」 ① リモート体験会	9
2	2.10.17	古江台ホールさくらそうデイサービスセンター	「さくら」 ① 2 層協議体について ② 体操について ③ ダイエー池田駅前店移動販売について	13
3	2.10.22	保健福祉総合センター会議室 1	「山の手チーム」 ① ダイエー池田駅前店の移動販売について ② リモート会議について	9
4	2.10.24	ほほえみの園屋外	「えがおの会」 ① 新メンバー紹介 ② 活動報告	14
5	2.11.27	2 層メンバーの自宅と社協役員室	「山の手チーム」 ① Zoom 会議体験会	6

6	3.2.5	アルビス緑丘 集会室	「さくら」 ①サルコペニア、フレイルについて ②椅子に座って行う体操	コロナ禍で延期

(4)研修会への参加

先進事例研究として、研修会に参加しました。

回	年月日	場　所	主な内容	出席者(人)
1	3.1.6	社協 Zoom 会議	住民主体の居場所を育てる ～住民の力で地域を持続可能にするために～ 一般社団法人全国食支援活動協力会	1
2	3.3.2	社協 Zoom 会議	本音で語ろう！情報交換 2020-2 「さわやか福祉財団近畿ブロック」	1

12.「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業

（多機関の協働による包括的支援体制構築事業・地域力強化推進事業）

地域共生社会の実現に向けて、住民の身近なところで住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制づくり、および、池田市における複合的な課題を解決するための包括的な相談支援システムを構築することを目的に事業を実施しました。

平成 29 年 10 月から池田市が国のモデル事業の指定を受け、まず、多機関の協働による包括的支援体制構築事業の委託を社協が受け、さらに平成 30 年 4 月からは地域力強化推進事業の委託も併せて実施しました。令和2年度でモデル事業は終了し、今後本格実施（重層的支援体制整備事業）へと移行していく予定です。

これまでの成果としては、多機関の協働による包括的支援体制構築事業では、これまで分野別でのネットワークが中心であった専門機関・団体が、分野を超えて顔の見えるつながりを構築することができたこと、制度の狭間の課題について、協働して支援していくことの重要性を認識できたことなどがあります。

地域力強化推進事業では、モデル地区の地域性や地域課題が明らかになり、住民が主体的に課題解決に取り組むための話し合いや研修会・学習会を開催することで認識を深めることができました。

この間、主に住民や関係者の意識への働きかけを中心に取り組みをすすめてきましたが、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築するためには、住民・関係者の意識づけだけでなく、併せて行政を含めこれまでの仕組みの再構築を行っていく必要があります。今回のモデル事業ではそこまで着手できておらず、今後に向けた課題となっています。

(1)多機関の協働による包括的支援体制構築事業

①相談支援包括化推進会議の開催

市内の相談支援機関・団体が分野を超えて集まり、制度の狭間、複合した課題などへ連携して対応できるよう、お互いの得意分野を知り、顔の見えるつながりをつくるためにネットワーク会議を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防のため、ほとんど会合を行うことができませんでした。

（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.8.26	保健福祉総合センター大会議室	○事業紹介 「伏尾地域包括支援センターについて」 「池田市地域支援課の事業について」 ○説明「重層的支援体制整備事業について」	24

②ひきこもり支援連絡会の開催

市内にひきこもり専門の相談窓口がないことや、支援の道筋が確立されていないことなど、相談支援機関・団体が共通して支援に難しさを感じているひきこもりの支援について、今後池田市において支援方法や仕組みを確立させていくための実務者の連絡会を開催しました。

（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.8.7	府市合同庁舎　4階小会議室	○ひきこもり支援に関する問題意識について ・池田市社協　・池田市　・大阪府池田保健所 ○関係機関・団体の現状	17
2.9.4	伊丹市役所	○視察　　伊丹市くらし・相談サポートセンター 伊丹市でのひきこもり支援の取り組みについて	6
2.10.16	府市合同庁舎　4階小会議室	○伊丹市視察の報告 ○家族支援の取り組みについて	16
2.11.12	府市合同庁舎　4階小会議室	○家族の体験から支援のあり方を考える ゲストスピーカー：一般社団法人　マノ・ア・マノ 理事長　村上邦男　さん	20
3.2.25	府市合同庁舎5階大会議室	○研修会　　ひきこもりの支援について 講師：佛教大学保健医療技術学部 教授　漆葉成彦　さん	22

(2)地域力強化推進事業

①まちごと・丸ごとプロジェクト

小学校区の分野を超えた地域活動団体がネットワークを組んで、行政や関係する事業所などとも連携し、だれもが孤立することなく安心してくらせる地域をつくるための活動をすすめるため、3つの小学校区をモデル地区に指定し、話し合いの場づくりをすすめました。

〔石橋地区まちごと・丸ごとプロジェクト〕

テーマ・・・災害・高齢者

福祉ネットワーク会議は、新型コロナウイルス感染予防のため開催できませんでした。

〔北豊島地区まちごと・丸ごとプロジェクト〕

テーマ・・・高齢者

・福祉ネットワーク会議の開催　（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.8.23	池田市総合スポーツセンター	みんなでラジオ体操を学ぼう 講師：一級ラジオ体操指導士 当山倫子さん	37
2.11.15	きたてしまプラザ	北豊島地区の男性の地域活動参加についての意見交換	10

・幹事会の開催　（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.6.23	きたてしまプラザ	今年度の事業について	11
2.7.7	きたてしまプラザ	イベント「みんなでラジオ体操を学ぼう」の企画について	11
2.9.15	きたてしまプラザ	イベントの振り返りと今後の展開について	11
2.10.13	きたてしまプラザ	「男の井戸端会議」の企画について	11
2.11.24	きたてしまプラザ	イベントの振り返りと今後の展開について	10

〔池田地区まちごと・丸ごとプロジェクト〕

テーマ・・・つながり

・福祉ネットワーク会議の開催　（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.11.28	保健福祉総合センター	新町三寿会の活動についてきいてみよう！「なんでもワンストップヘルプ事業」「ゴールデン食堂」について 講師：新町三寿会副会長　前川吉晴さん	28

・幹事会の開催　（人）

年月日	場　所	内　　容	参加者数
2.6.30	保健福祉総合センター	今年度の事業について	8
2.7.14	保健福祉総合センター	イベント　池田地区発の面白い活動についてきてみよう！企画	9
2.9.29	保健福祉総合センター	新型コロナウイルス感染拡大で中止したイベントの再開について	8
2.12.8	保健福祉総合センター	イベントの振り返りと今後の展開について	8

②福祉よろず相談窓口

どこに相談したらいいのかわからない困りごとや、地域で気になること(人)などについて、気軽に立ち寄って相談できる身近な場所として、概ね小学校区に１カ所ずつ相談窓口を新しく開設しました。主に共同利用施設において、月1回コミュニティ・ソーシャル・ワーカーが相談に対応しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、約9か月間は相談窓口を休止しました。

（件）

地区	場　所	相談受付件数	相談経路							相談内容				
			本人	住民	その他					介護	障害	子育て	経済困窮	その他
					民生委員	地区福祉	関係機関	その他	合計					
伏尾台	伏尾台第1コミセン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細河	ﾊﾞｰﾄﾞﾋﾙｽﾞ等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秦野	南畑会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
五月丘	五月丘会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	駅前南会館等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神田	神田北会館	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
緑丘	ｱﾙﾋﾞｽ緑丘集会所	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
北豊島	きたてしまプラザ	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
石橋	井口堂北会館	3	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	2
石橋南	石橋会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	3	0	1	2	0	1	4	2	1	0	1	3

13. 有償協力員派遣事業（にじの会）

有償協力員派遣事業「にじの会」は、公的施策だけでは解決できない在宅福祉サービスのニーズに対して、住民相互の助け合いを基盤にして地域福祉の向上を図り、有償による福祉サービスを提供することにより解決することを目的としています。

令和2年度では、よりよい事業をめざし見直しを進め、準備・検討・説明を重ねた結果、令和3年度から制度を改正することに決まりました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、活動中止を余儀なくされることがありました。しかし、その時々の状況や、利用会員・協力会員双方の思いを確認しながら、活動を続けました。

(1)相談件数　（件）

内容	利用相談	訪　問
件数	80	265

(2)会員数　　（人）

	協力会員	利用会員	合　計
入会者数	6	29	35
退会者数	△5	△15	△20
前年からの継続会員数	24	76	100
合　　計	25	90	115

(3)内容別稼動件数・時間数

内容	掃除洗濯含む	食事作り	買い物	外出の付き添い	庭関係	代理朗読・代筆	その他	見守り	話相手	合計
派遣件数（件）	743	41	115	47	41	15	51	0	1	1,054
派遣時間（時間）	1,110	52	133	154	63	29	89	0	1	1,631

(4)新制度説明会

令和3年度から新制度に移行するため、会員・関係者に向けた説明を行いました。

（協力会員向け説明会）

年月日	内　　容	出席者数
2.9.25	・にじの会の現在の課題の説明 ・にじの会の新制度説明 ・質疑応答	14 人
3.3.1 3.3.3 3.3.5	・新活動報告書の記入方法及び、手続きについて ・にじの会更新手続き	7 人 10 人 5 人

（関係機関向け説明）

・地域包括支援センター連絡会

・市健康増進課会議

(5)広報啓発活動

○会員への情報提供と交流を目的に「にじの会だより」を2回発行

① 令和2年 5 月27日発行（感染防止対策、令和元年度の活動を振り返って）

② 令和2年12月18日発行（制度改正について）

○制度改正後のパンフレット発行

○制度改正の説明動画作成

(6)有償協力員運営委員会開催状況

月　日	主 な 議 題	出席者数
2.9.18	① 正副委員長の選出 ② コロナウイルス感染拡大防止自粛中の対応について ③ 令和2年度の運営状況について ④ 制度改正について	12 人

14. 訪問介護事業

〔1〕訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)

訪問介護員(ホームヘルパー)が、介護給付対象者の家庭を訪問し、入浴・排泄・食事、通院等の身体介護や食事の用意、洗濯、掃除等の日常生活の援助を行い、在宅生活を支援しています。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、生活機能向上を目的に、利用者本人ができないことを援助し、出来ることは本人自身が行い、出来ることが少しでも多くなるよう支援しています。

・利用状況－介護給付訪問介護対象者

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	34人	552 回
生 活 援 助		1,638 回
混 合 型		641 回
計	34人	2,831 回

・利用状況－介護予防・生活支援サービス対象者

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 回 数
訪問型サービス	29人	1,668 回

〔2〕さわやかホームサービス

介護保険・障がい者総合支援制度になじまない支援を必要とする方にホームヘルパーを派遣しています。

・利用状況

区　　分	利　用　者　数	派 遣 延 回 数
さわやかホームサービス	4人	12 回

15. 障がい者総合支援事業

〔1〕居宅介護（ホームヘルパー派遣）

障害者総合支援法に基づく介護給付対象者（身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者、難病等対象者）の家庭を訪問し、入浴・排泄・食事・通院等の身体介護や、食事の用意・洗濯・掃除等の日常生活の援助を行い、在宅生活を支援しています。

・利用状況

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	35 人	1，066 回
家 事 援 助		2，898 回
通 院 介 助		315 回
計	35 人	4，279 回

〔2〕同行援護（ガイドヘルパー派遣）

視覚障がい者に、社会生活上必要な外出や余暇活動等のための外出時にガイドヘルパーを派遣し、移動中の介助を行っています。

・利用状況

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 回 数
同行援護	11 人	1，056 回

16. 移動支援事業

視覚障がい者以外の方で屋外での移動に制限のある障がい者へは、移動支援（ガイドヘルパー派遣）で外出の介助を行っています。

・利用状況

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 回 数
移 動 支 援	9 人	302 回

17. 居宅介護支援事業・介護予防支援事業

〔1〕居宅介護支援事業

ケアマネジャーが利用者の心身の状態、本人・家族の希望、生活環境を勘案し、具体的な介護サービスの利用計画（ケアプラン）を作成し、サービス状況の把握、評価を行い、可能な限り在宅で生活できるよう支援しています。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、地域包括支援センターから委託を受け、生活機能の改善、向上を目的としたケアプランを作成しています。

・利用状況

区　　分	利　用　者　数	利 用 延 件 数
ケアプラン作成	44人	380 件
介護予防支援計画作成	18人	86 件
介護予防ケアマネジメント		87 件

・利用状況―介護給付対象者

区　　分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 介 護 1	134 件	11件
要 介 護 2	142 件	12件
要 介 護 3	35 件	3件
要 介 護 4	34 件	3件
要 介 護 5	26 件	2件
計	371件	31件

・利用状況―予防給付及び第1号事業の介護予防マネジメント

区　　分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 支 援 1	52 件	4件
要 支 援 2	83 件	7件
事業対象者	38 件	3件
合 計	173 件	14件

〔2〕介護認定に伴う訪問調査

介護認定に伴う訪問調査を市から受託し、ケアマネジャーが訪問調査を行っています。

訪問調査件数	11 件

18. 障がい者地域生活支援センターひだまり

障がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を送れるように、相談支援専門員が必要な相談に応じ、情報提供や支援、福祉サービスの利用援助を行いました。

また、計画相談支援に基づくサービス等の利用計画立案、定期的なサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行い、適切な福祉サービス利用や計画の見直しを行いました。

名　　称	実績件数
総 合 相 談	1,008件
サービス利用支援	50件
継続サービス利用支援	52件
障がい支援区分認定調査	2件

19. 池田市さわやか地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、社会福祉士、主任ケアマネジャー及び保健師等がチームを組み、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業および包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の4つの基本機能を担い、担当地区（池田・五月丘）の高齢者を包括的に支援しています。

〔1〕介護予防ケアマネジメント

要支援認定者及び事業対象者の依頼を受けて、要介護状態になることをできる限り防ぐことや、それ以上悪化しないように維持・改善を図ることを目標とし、介護予防ケアマネジメントを行っています。高齢者人口が増え、利用者も年々増加しています。

・介護予防ケアマネジメント業務

ケアプラン 作成人数	介護予防 支援計画	介護予防 ケアマネジメント	合 計
319 人 （246 人）	1，392 件 （1，146 件）	1，398 件 （981 件）	2，790 件 （2，127件）

（　　）内は、委託分

〔2〕総合相談支援事業

高齢者本人や家族の方等から高齢者に関する様々な相談を受け、情報提供、手続きの援助、関係機関への紹介等を行っています。主な相談内容は、介護保険制度や認知症に関すること等でした。

また、相談業務以外に民生委員や地区福祉委員、または関係機関等からの情報提供を通して、高齢者の実態把握に努めています。

区　　分	相談延件数
相　　談	1,079 件 (うち訪問 578 件)
実態把握	237 件 (主に独居・高齢者世帯)

〔3〕権利擁護事業

地域の高齢者を支えていく上で生じる様々な権利侵害を防止し、高齢者の権利を守り、尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう支援しています。主な相談内容として、身寄りがない認知症高齢者の処遇についての相談が増えてきています。

主な内容	相談延件数
1. 困難事例 2. 高齢者虐待 3. 成年後見制度 4. 消費者被害の防止	170 件

〔4〕包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくことを目指して、地域における連携・協働の体制作りに取り組んでいます。また、ケアマネジャーへの支援として、困難事例等への指導・助言や担当地区内7か所の居宅介護支援事業所を対象に勉強会を3回開催しました。

区　　分	件　　数
ケアマネジャーに対する個別指導	19 件
困難事例等への指導・助言	21 件

〔5〕池田市認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援チームを配置し、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築について取り組みました。

対象者人数
１３人

〔6〕地区での活動

地域へ出向き、地域住民との交流を図り、相談しやすい関係づくりを目指すことや、認知症サポーターや介護予防について普及啓発活動を行っています。

主な内容	回　　数
認知症サポーター養成講座	２ 回
ふれあいサロン	７ 回
ふくまる健康教室（健康フォーラム）	０ 回
その他	３ 回

20.保健福祉総合センター管理運営事業

平成29年度より指定管理者として、池田市保健福祉総合センターの管理運営を行っています。（5年間）

指定管理者として4年目である令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、池田市と連携して、会議室の利用休止や利用人数の制限、センター開館時間の短縮や利用制限、感染予防対策などを実施したことにより、利用者には不便を強いる管理運営となり、センター利用回数及び利用人数は大幅に減少しました。そういった状況下においても、誰もが安心して利用できる、地域に開かれたセンターの管理運営を行うとともに、感染予防対策を講じたうえで、映画上映会や市民向け講座を実施し、できる限りセンターの利用促進と周知に努めました。

(1)センター利用状況

室 名	定 員	回 数	利用者数(延)
大会議室	120人	277回	8，208人
会議室(1)	24人	145回	3，481人
会議室(2)	36人	101回	2，815人
会議室(3)	12人	76回	1，184人
講習会室	20人	121回	1，403人
健康教育室	84人	247回	7，345人
調理実習室	30人	31回	303人
計		998回	24，739人

(2)行事開催状況

①映画上映会

年月日	行事名	場 所	参加者数
2.11.1	映画「調査屋マオさんの恋文」上映会＆トークショー	池田市保健福祉総合センター大会議室	81人

※午前の部、午後の部 2回実施

②市民向け講座（シニア向けスマートフォン体験講座）

年月日	行事名	場 所	参加者数
2.7.28	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター大会議室	13人
2.7.28	新しい生活様式 スマホ・タブレット活用術	池田市保健福祉総合センター大会議室	15人
2.8.24	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	18人
2.8.24	新しい生活様式 スマホ・タブレット活用術	池田市保健福祉総合センター健康教育室	18人
2.9.29	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター大会議室	17人
2.9.29	新しい生活様式 スマホ・タブレット活用術	池田市保健福祉総合センター大会議室	12人
2.10.26	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター大会議室	5人
2.11.27	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター大会議室	12人
3.3.15	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	16人
3.3.24	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	15人
3.3.29	はじめてのスマホ決済＋スマホ活用術	池田市保健福祉総合センター健康教育室	8人

③こころとからだのリラクセーション講座

年月日	行事名	場　所	参加者数(延)
2.8.21～ 2.8.28	こころとからだのリラクセーション講座　特別編 (全2回)	池田市保健福祉総合センター 健康教育室	19人
2.9.18～ 2.10.16	こころとからだのリラクセーション講座　第1期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 健康教育室	39人
2.10.23～ 2.11.27	こころとからだのリラクセーション講座　第2期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 健康教育室	33人
2.12.4～ 3.1.8	こころとからだのリラクセーション講座　第3期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3－1	43人
3.1.22～ 3.2.5	こころとからだのリラクセーション講座　オンライン Zoom 体験会 (全3回)	オンライン	13人
3.2.12～ 3.3.26	こころとからだのリラクセーション講座　第4期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3－1	27人

(3)啓発活動状況

①ホームページの随時更新 （会議室空室状況の随時更新　など）

②各種資料の提供 （各種パンフレット、地域福祉に関する資料　など）

(4)その他実施状況等

①消防訓練(自主訓練)

実施日	内　容	場　所	参加者数
2.10.21	避難訓練(避難経路確認)、通報訓練、消火訓練　等	池田市保健福祉総合センター大会議室　他	10人

21.喫茶パーラーいけだ

社協自主財源の基盤である喫茶「パーラーいけだ」は、新型コロナウイルス感染症による利用減少、会議時等の店外における利用減少により、大変厳しい経営状況となりました。従業員と店舗の安全衛生管理を徹底し(アクリル板設置、座席・テーブルの間引き、スタッフ向け対応マニュアル作成、検温、大阪府コロナ追跡システムへの登録、マスク会食の声掛け等)、お客様に安全快適に過ごしていただけるよう努めました。

22.「お変わりないですか？」活動

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛による不安や孤立の防止対策として、大阪府が創設した「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」の助成金を利用し、池田市社協では「お変わりないですか？」活動をすすめました。

(1)手紙・電話・通信配布による安否確認

緊急事態宣言中はもとより宣言解除後も地域でサロン等を開催することができず、安否確認が困難になったため、高齢者や障がい者、子育て世帯等に対して、手紙・電話による安否確認を行うことや、情報提供のための通信を発行することで「会えなくてもつながる」ことを継続し、孤立を防ぎ、SOS を出しやすい環境をつくりました。

①緊急事態宣言発令中の 4 月 25 日～5 月 7 日までに地区福祉委員約 200 人の協力により、2360 人の高齢者・障がい者・子育て世帯等の安否確認を実施

②地区の安否確認対象者に加え、障がい者団体連合会会員、社協事業(にじの会、ファミリーサポートセンター)利用者に「お変わりないですか？」活動通信を郵送

③約 50 人の方から「お変わりないですか？」活動通信でのアイデア募集に対して提案があり、その中からマスクプロジェクトが発足

(2)「会えなくてもつながる」ための ICT 活用

緊急事態宣言解除後も地域でこれまでどおりの活動をすることが難しくなっている中で、集まることができないために起こる体調の悪化や孤立を防ぐために、ICTを活用した新しい活動方法について模索しました。

①池田市社協公式 YouTube チャンネル開設

②SNS を活用した双方向型のコミュニケーション

(3)マスクでつながり支え合おう！プロジェクト

新型コロナウイルス感染症予防のために欠かせなくなったマスクを介して、コロナ下で希薄になった人と人とのつながりを取り戻し、地域でつながり・支え合う機運を醸成しました。

①市民の協力で計 1278 枚の手づくりマスクが集まり、地区福祉委員会の見守り対象者、福祉施設の入所者、子育て支援拠点利用者、子ども食堂利用者、保育園児、小学生等に配布

②マスクを受け取った方から届いたメッセージカードを社協事務所前ロビーに掲示

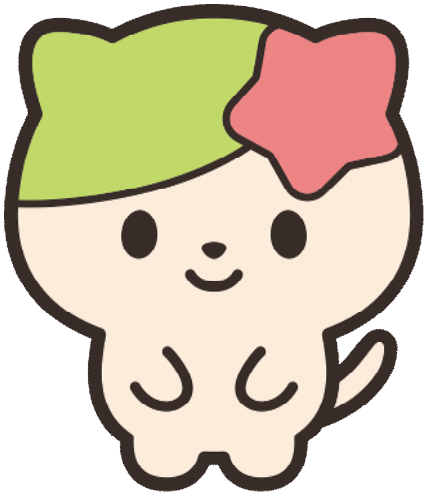
③マスクプロジェクト専用ホームページを開設

④ボランティアによる定期的な作業の会を設置

(4)池田市社協イメージキャラクターの設定

平時だけでなく、今回の新型コロナウイルス感染拡大のような非常時にも、地域での安心した暮らしを守っていくためには、社協と地域住民や関係者がこころを1つにあわせて協働して福祉のまちづくりに取り組む必要があります。そのシンボルとして池田市社協イメージキャラクター「さっち」が誕生しました。

『五月山と市の花「さつきつつじ」が模様になった「ねこ」で、困っているとどこからともなくやってきて、人に寄り添って温もるのが好き』という設定です。



池田市社協イメージキャラクター「さっち」